別紙資料 7

「ライフヒストリー」

＊ 校務分掌、役割、人との出会い、研修等のターニングポイントを記入してください

10														
9														
8														
7														
6														
5														
4														
3														
2														
1														
0														

初任の頃 →

＊ 右端が「現在」にならなくてもOKです。また、横軸は特に決まったスケールではありません。

二つの資質能力の合計数値

それぞれのレベルを表す文言には、厳密にとらわれることなく、「近いな」と思われるところを選んでください。

課題解決能力		同僚性の構築力
・既得の課題解決のスタイルを場面に応じたものへ発展させる ・自分の教育活動を省察し、応用し続ける	5 応用・発展	協働的な創造に向けた意図的・計画的な指導・支援ができる
・諸課題に対応したよりよい課題解決の方策を提案できる ・同僚に明確に説明し、自信をもって指導・助言できる	4 自　信	協働で考え、同僚や若手が活躍できる場を設定する
・同僚から意見を聞きだす努力をし、組織的な解決を意識する ・批判的な意見にも耳を傾け、振り返りながらよりよい策を講じようとする	3 挑戦・成長	組織の力を高めることを考えた提案や批判をする（しようとする）
・諸課題に対応した改善策を考え、提案しようとする ・知見や経験を増やし、自分の役割と責任を理解する	2 自　覚	同僚の課題・悩み・目標を共有し、支援しようとする
自分の業務だけでなく、学校・学年の課題を見つけ、改善策を考え提案しようとする	1 芽生え	同僚の役に立ちたい、若手を育てたいとの思いから提案する
自分の業務に関して課題を見つけ、改善策を講じることができる	0 準　備	同僚から求められれば手伝い、共に創り上げる喜びを知る